

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公表番号】特表2011-506769(P2011-506769A)

【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-537972(P2010-537972)

【国際特許分類】

C 23 C 18/16 (2006.01)

【F I】

C 23 C 18/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載のシステムであって、

前記ラマン分光計は、785ナノメートルの波長の光源を用い、前記可視光分光計(VIS)は、概ね490ナノメートルから540ナノメートルまでの波長を有する緑色光源を用いる、システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれか一項に記載のシステムであって、

前記pHプローブは、pH測定におけるばらつきを温度の関数として決定すること及び補正することを可能にするために、温度センサを組み入れている、システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

請求項1ないし請求項4のいずれか一項に記載のシステムであって、

前記制御システムは、前記還元剤、前記pH調整剤、及び溶液中の少なくとも1つの金属のいずれかを、前記めっき溶液中のそれらの対応する濃度が設定値未満である場合に、追加することによって、並びにそれらの対応する濃度のいずれかが設定値を上回る場合に、脱イオン(DI)水を追加することによって、動作する、システム。